若手にインタビュー！

一年間を振り返って・・・

ep.入局から一人前になるまで～

平成３０年度に採用された皆さんも、入局後1年以上が経過し、公私ともに充実してきたところです。
そこで今回、職場に馴染み、余裕が出てきた今だから思う、身の回りに起きた変化や現在感じていることなど、
リアルな声を聞いてみました。受験生の皆さんも、北陸財務局で働く姿をイメージしてみてください❀

Q　数ある公務員の中で、財務局を志望した理由はなんですか。

A・「国と地域をつなぐ」というパイプ役に自分の性格があっていると思ったからです。

- 経済や金融など、今後も需要のある分野に興味があったからです。
- 勤務地は北陸三県の県庁所在地のみで、転勤があっても生活しやすいこと、希望すれば本省庁（財務省・金融庁）でも働けることに魅力を感じました。
- 財政投融資資金や公的資源等を活用して、まちづくりを頑張る方々のサポートをする側として地域に貢献したいと思いました。
- 最終的な決め手は、職場訪問で、職場の風通しの良さやワークライフバランスの取組み等を知り、魅力に感じたことでした。

Q　職場の雰囲気はどうですか。

A・後輩の面倒見がよい人が多く、不安が多い１年目も何とかなりました。

- 時にはリフレッシュ感あふれ、時には緊張感あふれといった感じでメリハリのある雰囲気です。
- 限られた時間で効率よく必要な仕事を取捨選択している印象です。
- アットホームな雰囲気で、困ったことがあればすぐ周りの方がサポートしてくれます。尊敬する先輩方がたくさんいらっしゃり、たくさん学ぶ日々です。

Q　就職前は財務局にどのようなイメージを持っていましたか。また、就職後そのイメージがどのように変わったかを教えてください。

A【就職前】

- まじめな人ばかりが働いているイメージでした。
- 業務の幅が広い印象でした。
- 超エリート集団の厳かなイメージでした。
- ある程度限定された業務範囲で専門性を高めながら業務を遂行していくイメージでした。

【就職後】

- 明るい雰囲気で仕事しやすいです。
- 想像を超えて様々な業務を行っている官庁でした。
- アットホームな雰囲気で優しい方々ばかりです…（ありがとうございます。）
- 業務範囲が限定されている中でも業務内容に幅があり、なおかつ専門性が求められていると実感しました。

Q　職場での失敗談等があれば、聞かせてください。

A・印刷ミスやメールの送付ミスなどあげればキリがありません…

- 初めて取った電話で「お電話ありがとうございます」と言ってしまったことです。
- 出張先で靴を紛失したことです。
- 高速道路を利用する外出でＥＴＣカードを準備し忘れたことです。

Q　初ボーナスの使い道を聞かせてください。

A ・親へ高額品を購入しました。
・実家の家電を新調したり、旅行費用にあてたり…
・沖縄旅行へ行ってきました！
・いつも行く寿司屋より少し高級な寿司屋に行きました。
その日は、初めて寿司屋で金額を気にせず注文でき、幸せでした。

同期で誕生日会をしました。
仕事の話に限らず、同期と
話すことで不安を解消し、
リフレッシュしています。

Q　学生時代と比べ、日常生活で変化したことを聞かせてください。

A ・私生活でも自分のことを、「わたし」とつい言ってしまうようになりました。
(by男性Ｉ)
・早寝早起きするようになったことに比例し、自炊をしなくなりました(^^;。
・めざましテレビを見れる時間に起きるようになりました。
・当たり前ですが、日常生活で目にする、あらゆる「学生割引」が使えなくなったことです。

Q　職場のワークライフバランスへの取組みはどう思いますか。

A ・とてもバランスが取れた環境だと思います。私自身、フレックスタイム制を活用しており、朝少し早く来て仕事する分、早く帰庁し、より充実したアフター５を過ごしています。
・有給休暇の取得やフレックスタイム制の利用などで柔軟な働き方ができるので、ワークライフバランスへの取り組みはかなり進んでいるように感じます。
・月1回以上の有給休暇取得が推奨されており、年休が取りやすく、プライベートも考慮してくれます。
・私の課では、Outlookで予定を管理しているため、予め休みたい日には休暇予定を入れ、課内で配慮しあっています。

Q　最後に、受験生にメッセージをお願いします。

A ・公務員の試験勉強はとても大変だと思いますが、北陸財務局で働くことができている今、あの時頑張って本当によかったと思っています。強い気持ちをもって頑張ってください！！
・必ず入ってよかったと思える職場が待っています。がんばれ！
・財務局では、若手でも様々な業務に携わることができ、アットホームな環境で働けるので志望して・入局して損はないと思います。地域の金融機関や地方公共団体などと連携して地域のために働くことができます。自分の積みたいキャリアに合わせて本省庁で働く機会があることも魅力の一つで、その経験を基に財務局で働くことも可能です。
財務専門官は採用が少なく、狭き門に思えるかもしれませんが、財務局の業務に少しでも興味が湧いたならぜひ挑戦していただきたいです。皆さんと働けること楽しみにしています。
・受験生の皆さんは今後の就職活動で、迷ったり、一喜一憂したりすることがたくさんあると思いますが、最終的に納得がいくような形で就職活動を終えられるよう精一杯頑張ってください。応援しています。